

## 1. 目的

近年、科学技術の発展はめざましく、医療分野においても先端技術の高度化、関連職種の特 門分 化が進展し、保健医療を取り巻く社会情勢は大きく変化した。特に、高齢社会の到来に伴って疾病 構造が変化した結果、病気や障害を抱えながら地域社会の中で日常生活を営む人々が急増し、在宅 看護や介護など、保健・福祉・医療にかかわる看護ニーズが拡大し、多様化してきている。また、心 身症や自殺者の増加など、心のケアを必要とする健康問題への支援が求められている。

とりわけ島根県は老年人口比率が高く、わが国の高齢社会の抱える問題を先行して体験している ことに加え過疎化が進行する離島や中山間地域を抱えているところから、住民に豊かな保健・医療・ 福祉サービスを提供するためのシステムを模索している現状にある。

こうした健康問題の社会的・地域的要請に応えていくためには、高度な看護実践能力を持ち、保健・ 医療・福祉の有機的連携を調整する役割を果たせる看護専門職者と看護学研究者の育成が必須であ る。

本研究科は、豊かな人間性と幅広い視野をもち、科学的な視点と看護学の理論に支えられた卓越 した看護実践能力と、創造的な教育・研究能力を持つ人材を育成し、看護学の発展と地域の保健・医 療・福祉の向上に寄与することを目的とする。

## 2. 目標

各種医療機関、保健・福祉施設、教育・研究機関等で活躍する看護学分野における専門性の高い人 材の育成を行う。

### 1. 高度な専門職業人の育成

看護の対象となる人々の QOL の向上や看護ケアの質の向上を図るために、深い人間理解と高度 で専門的な知識と技術を有し、専門領域の分野で卓越した看護を提供できる能力を持つ人材を育 成する。広い視野で保健・医療・福祉の資源を有効に活用し、一般看護職者のケアの質を向上させ るための教育的機能を果たすとともに、専門分野の看護実践の場における研究活動を推進し、看 護学の発展に寄与することのできる人材を育成する。

### 2. 教育者・研究者の育成

学部教育で修得した専門的知識と技術を基盤にさらに学識を深め、看護学の体系化と看護技術 の開発を積極的に推進していく能力を育成する。看護学の最先端の理論と知識、方法を学び、急 速に進展している看護学の高等教育を担う人材を育成するとともに、博士後期課程へ進学し研究 者として自立できる能力を有する人材を育成する。

## 3. ディプロマ・ポリシー

### ◆人材育成目標（社会における顕在・潜在ニーズ，卒業生が身につけるべき資質・能力）

豊かな人間性と幅広い視野を基盤として科学的な視点から看護学の学識を教授研究し、卓越した 看護実践能力と創造的な研究能力を持つ人材の育成を目的とします。

#### 1. 看護援助学コース

ヘルスケアシステムにおいて質の高い看護援助を提供するために、看護援助の理論と科学的思 考力を獲得し、新たな看護援助の開発ができる人材を養成します。

#### 2. 看護管理学コース

社会のヘルス・ニーズに対応して、最良の看護を組織的に提供し、計画・組織化・支持・調整・統制 といった諸活動を展開できる人材を養成します。日本看護協会認定看護管理者規程第 2 1 条に 定める実務経験を有する者は認定看護管理者認定審査の受験資格を得ることができます。

#### 3. 地域・在宅看護学コース

地域の人々の健康的な生活を維持・増進するための保健・医療・福祉の効果的連携や在宅療養 者の生活の質向上に向けて専門的看護が実践できる人材を養成します。

#### 4. 母子看護学コース

ライフサイクルと生涯発達の視点に立って、様々な健康状態にある小児の特性、妊産婦や子どもの健康問題に関する最新の知見、母子保健施策を通して、母子や家族の健全な発達を支援できる人材を養成します。

#### 5. がん・成人看護学コース

生命、生活および健康にとって重大な課題であるがんや今日的な健康課題・健康障害について理解を深め、看護に関連した理論と方法を学び、患者・家族のQOL向上をめざした看護実践ができる人材を養成します。

#### 6. がん看護CNSコース

がん患者とその家族のQOL向上を目指した高度ながん看護実践能力・適切な倫理的判断力・研究的視点を備えた看護専門職者を養成します。必須科目に加えて、専門看護師の各分野に対応する領域の科目、ならびに指定の科目を履修することにより、課程修了後ながん看護専門看護師認定審査の受験資格を得ることができます。

#### 7. 高齢者看護学コース

高齢者や家族へのケアをコーディネートすることのできるマネジメント能力がありケア開発のできる人材を養成します。

#### 8. 老人看護CNSコース

老人看護分野において、総合的な判断力と組織的な問題解決力を持って活動し、老人看護実践の発展に貢献できる専門看護師（CNS）を養成します。

#### 9. 助産学コース

自立して正常な妊娠・分娩・産褥期のケアができる能力と妊娠期から分娩期、子育て期まで継続的に母子を支援できる能力をもった助産師を養成します。

### ◆目標としての学修成果

原則として2年以上在学し、所定の単位(30 単位以上)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けて修士論文を提出し、その審査に合格することにより 修士(看護学)の学位が授与されます。

そのためには、以下の学習成果を上げることが求められます。

1. 修士論文の作成をとおして、体系的な研究方法を身につけていること。
2. 専攻した看護学専門分野の高度な知識と技術を身につけていること。
3. 組織的に問題解決を図るための総合的な判断力とリーダーシップを身につけていること。

## 4. カリキュラム・ポリシー

### 1. 教育課程の編成の方針

1. 多様な選択ができるよう、看護学の全領域を網羅的にカバーした「看護援助学」「看護管理学」「地域・在宅看護学」「母子看護学」「がん・成人看護学」「高齢者看護学」「がん看護CNS」「老人看護CNS」「助産学」の9コースを設置しています。

### 2. 教育課程における教育・学習方法に関する方針

1. 専門分野の看護学を系統的に学び、研究課題を見出し、修士論文に繋げられるよう、専門分野の「特論2単位」「演習2単位」「看護学特別研究8単位」を1セットで必修としています。
2. 看護学の基盤を成す「看護倫理」「コンサルテーション論」等の科目を「基盤科目」とし、専攻分野に関わらず選択必修8単位を課しています。
3. 専攻した分野以外にも、幅広い看護学の知見を学べるよう、『専門選択科目』16科目と各専門分野の「特論」7科目を設定しています。
4. 研究能力の向上をめざし、全員が「看護研究方法演習」で多様な研究方法の基本を学んだ後に修士論文に取り組めるようにしています。

### 3. 学修成果の評価の方針

1. 学修の成果は、シラバスに記載された学習目標、成績評価基準に基づき、試験、レポート等により達成度を評価します。
2. 学位論文審査は公開とし、知識・技能を発展・活用できる能力の習得度によって評価します。
3. 学生の学修成果等をもとに、教育課程を検証します。

#### <医学系研究科看護学専攻（博士前期課程）学位論文評価基準>

医学系研究科看護学専攻（博士前期課程）における修士論文の審査については、以下の基準により評価する。

##### 1 基本要件

修士論文は、学位申請者の単著とし、医学系研究科看護学専攻博士前期課程学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）が求める能力を修得したことを示す、明瞭かつ論理的に展開されている論文でなければならない。

##### 2 論文の構成

修士論文は、次の要件を満たす構成とする。

- 1) 論文の題目が適切である。
- 2) 研究の背景が記述され、研究の意義及び目的が明確である。
- 3) 目的に沿った研究方法が明確かつ具体的に記述されている。
- 4) 目的に対応した結果がわかりやすく提示されている。
- 5) 得られた結果に基づき、矛盾や飛躍のない考察が記述されている。
- 6) 結論が適切に導き出されており、簡潔明瞭に記述されている。
- 7) 引用文献が適切に用いられている。

##### 3 論文の評価内容

修士論文の内容は、次のような点において評価する。

- 1) 看護学や看護実践の発展に貢献する内容を有する。
- 2) 先行研究が十分に検討され、研究背景が系統的に示されている。
- 3) 研究目的の設定や研究方法が適切である。
- 4) データ・資料などを的確に収集し、妥当な分析を行っている。
- 5) 新しい知見の提示や独創的な提案等を行っている。
- 6) 文章表現が適当であり、首尾一貫した論理展開になっている。
- 7) 研究の全プロセスにおける倫理的配慮が適切になされている。

## 5. 看護学専攻の構成

看護援助学コース、看護管理学コース、地域・在宅看護学コース、母子看護学コース、がん・成人看護学コース、がん看護 CNS コース、高齢者看護学コース、老人看護 CNS コース、助産学コースの9コースで構成されている。

## 6. 履修方法

次頁の履修モデルおよび、教育課程表（1）～（4）を必ず確認し、修了に必要な単位を把握し、たうえで、研究指導教員のもと履修登録を行うこと。

教育課程表（1）：看護援助学コース  
看護管理学コース  
地域・在宅看護学コース  
母子看護学コース  
がん・成人看護学コース  
高齢者看護学コース

教育課程表（2）：がん看護 CNS コース

教育課程表（3）：老人看護 CNS コース

教育課程表（4）：助産学コース